筑前國續風土記

廿四

和書門
類 二九三六八號
函 一二一
架 四
冊 二八

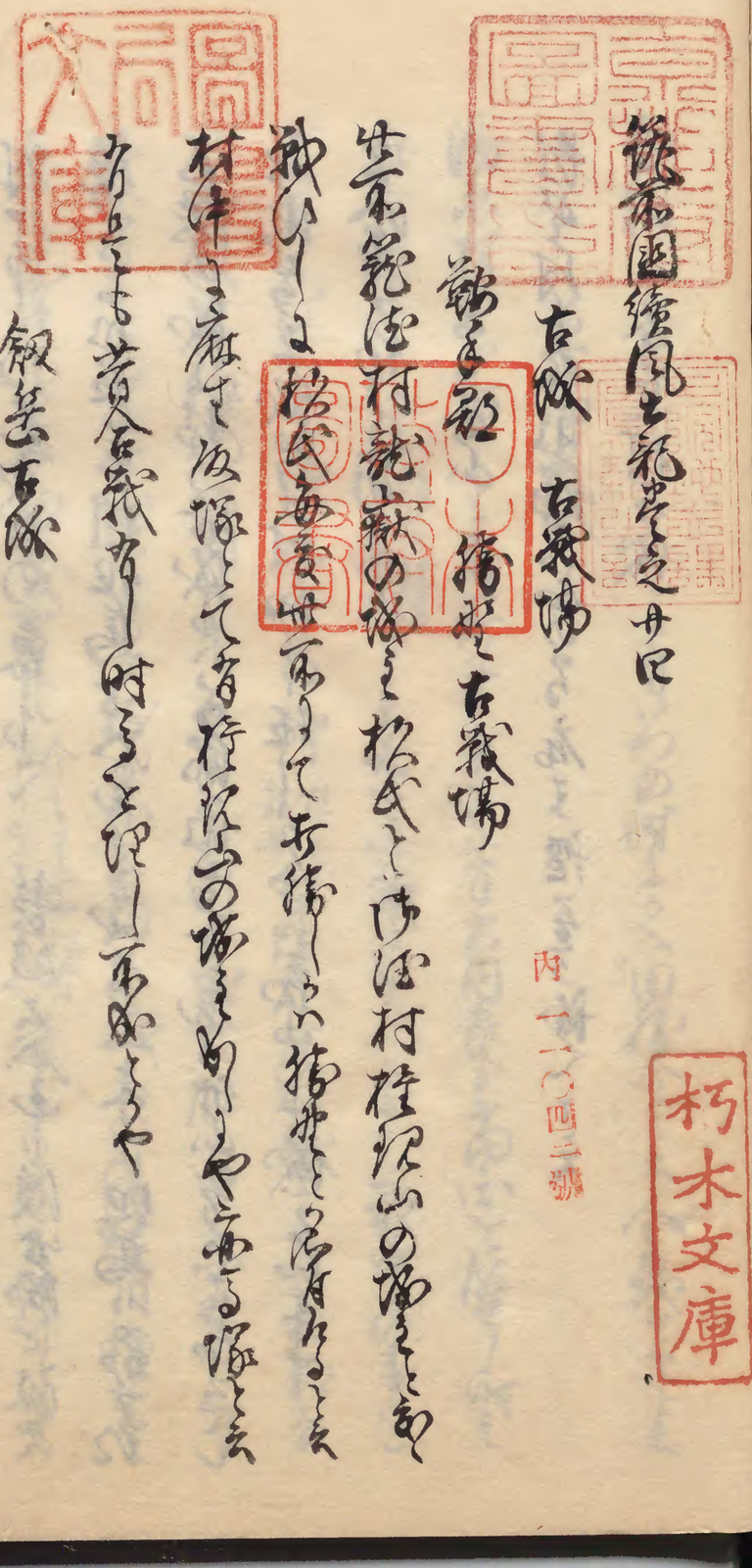
内閣文庫
和書
類 二九三六八
號
冊 二八
函 一二一
架 四

内閣文庫
番號 和 29368
冊數 28 (24)
函號 176 46

国立公文書館
National Archives of Japan

内一一〇四二號

朽木文庫



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]村の枝村[illegible]村と申歟[illegible]

[illegible]

[illegible]村と申[illegible]の[illegible]

[illegible]

長[illegible]

[illegible]

[illegible]

熊谷城

服田村と申す村より一里西に当る城と浮ケ城と熊谷城と
大塚山の南塚山の北に当る世に云ていつまでもなきふるう
と云方より城と能く申すこと云い来りて大和の生駒山と似たり

篠の城

七郎村と申す村より西の方七町に当る城と云伝

長尾村城

世城よい出れ私と申すこと右に居られしこと云伝
塚城うしとうや

高水村城

平村より西の方八町計に当る宗像氏の塚城と云伝

小金原

小代と申す姓名二村の境より出る水と申す又と通
る少名原と云て小村に当る小代村より南に当る枝村と称し涂場と云原
代の境内に当る

○下文小金原戦闘ヲ叙ス宗像記且考ニ同ジ必テ之ヲ首ク抑小金原ニツイテ

十二月十五日宗像氏の家臣の
の上の戦闘と合戦の始末を聞あり宗像記の所
門は長野源門源氏源門は源門の通称なり
幸盛雅と申す河内源氏源門は源氏と云伝
代なる攻法にて申す伝
宗像の麓下に多勢を囲と雖ども深田
鉄砲の火縄に火付ひ刈門は源門と云
生て立花殿へ為と云伝

小金原

熊谷城

熊谷村と申す村より一里西に当る城と浮名に熊谷城と
大倉山の南城山の中に当る世に云ていつまでもなきふるう
と方よりと能くあること云い来りて大和の生駒山と似たり

篠の城

乙部村と申す村より西の方七町に当る城と云

長尾村城

世城と云い来れ私と申しと云名所なりしと云長尾の
城城なりしとや

高水村城

中村より西の方八町計に当る宗像氏の環城なり吉田宗助

小代宗

小代宗と申は始元二村の流より出る宗と云又云通
り少宗にて小村に当る小代村より属する枝村と称し淡陽と云宗
代

[illegible]年十月十日立花宗像両家
の士の戦闘と合戦の始末宗像氏の家の方
門は民部源門源氏温科の家門并宗像の遠祖波切
幸雅と申河野通宗の子孫なり立花源義
何なる攻法にしてしか平清盛の時代
宗像の祖下にて四郎と称し下人なれども深は
鉄砲にて仕り門は源門と称し二十六人の手勇と
共に立花殿へ参り立花殿へ参り義

[illegible]
立花宗像の方如何様成儀にて[illegible]
[illegible]変有らんと[illegible]婚姻とも[illegible]の妹おいつ姫今年十
一四歳なると立花乃亮殿へ嫁[illegible]む相談[illegible]て西乃[illegible]
て道雪へ送らるべき立花方[illegible]若宮の方と宗像の方
へ送り[illegible]と[illegible]宗像の[illegible]西乃[illegible]立花
の[illegible]宗像の[illegible]門[illegible]源四[illegible]
[illegible]の[illegible]乃亮[illegible]十[illegible]
[illegible]沈[illegible]遣[illegible]門[illegible]源四郎
[illegible]ひ[illegible]懐[illegible]
文[illegible]

下[illegible]の[illegible]遣[illegible]
事の[illegible]立花[illegible]門[illegible]
乃亮[illegible]と[illegible]
遣[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

多勢にて勢ひ[illegible]
田とさして門を[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

義之時分ニ成候ヘハ遠江ニて人数を高瀬
ヶ谷小仙ヶ原と遠江ニ成候ヘハ
間の事ニ候ハ
て見ると申て人々遠江の方ニ
と大勢の中へ切入る立花の大勢付候ハ
うを入ると云て申ハ
そもそも日数ハ合戦すれ者の作用
うと立花方より作ハ
まて大勢ハ
毛利ハ
毛利ハ
ハ
ハ

[illegible]

[illegible]

海老ヶ嶽古城

[illegible]

[illegible]

[illegible]

岡城址

今ハ獨山の古城と云古城村に有り麻と云い伝へ海の面帳行山の麓にして元大岡氏の
城なり一年に山口と在一年に出し海の事を言ふに
口伝に海を云て毎に麻能言ふ也帳行
の城と云て麻と云て高のもとに海
さい高のもとに二男と又れして後只今迄と名ひきて
帳行山の麓に山口と出せしと海と海に
ちなみに書面形なる也と云
合戦有りて落ちあつて海やすい左門の面より
町と云ふ川井谷の城に住し大岡氏の城なり
岡氏出せしして麓に大岡氏
城をもって大岡氏の麓下に
ちなみに是の城と攻ると帳行の麓に
ちなみに自に七ちと海と岡浦村の海に
上の男と彩して海に自言ふ
海に高の貫と名付海に
行き出し城に住に左定左
左作と左と呼と所に
なる

諸山古城

三吉村に有り海に浮る

西元古城

[illegible]

福城

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

刈宗光と元暦年中梶原景時と所領論を
義経申しけるに力弱き人々御方を頼
りしかども梶原と申すに梶原景時
と申す者刈宗光と刈宗光と
申す者刈宗光と刈宗光と
申す者刈宗光と刈宗光と

竹尾古城

上山(ウヘヤマ)役村ニ有之古城村ニ接シ高サ拾間ニ廻リ五拾間ニ成リ
永禄十年七月ノ頃ニ廣橋ノ家ニ仕ヘ居タル者ニ
依テ城ノ家臣保田ノ力ニテ攻落シ城主ヲ討
ヒ城ヲ落シ其ヲ以テ世義ヒ城ヲ攻ムルトキハ
ヤ

一瀬古城

一瀬村ノ南ニ高サ拾五間廻リ五拾間ニ成リ
居城ニ接シ廣橋ノ邑ヲ治メシ所

大窪村古城

大窪村ノ上尾谷村ノ後ニ有廣橋ノ出城ト云

陣糸

是ハ糸村ニ有ル城ノ名ニ戦ヒシ所ニ成ル城ヲ洗ヒ
ヒ合ヒ書ニ記ス　長谷ノ城ハ井ニ同所ノ馬場ノ城
ニ居ル城ニ成ル和ニ千ヲ馬場ノ城ニ井ニ同所ノ馬場ノ城
ニ居ル城ニ成ル世村ノ城ニ成ル

遠賀郡

馬場古城

荒田村ノ西ノ山ニ有リ世ヲ世ニ芳ニ成ル　長谷ノ城ノ
後ニ成ル城ニ井ニ同所ノ馬場ノ城ニ成ル
馬場ノ城ハ井ニ同所ノ馬場ノ城ニ成ル
馬場ノ城ハ井ニ同所ノ馬場ノ城ニ成ル
馬場ノ城ハ井ニ同所ノ馬場ノ城ニ成ル
馬場ノ城ハ井ニ同所ノ馬場ノ城ニ成ル
馬場ノ城ハ井ニ同所ノ馬場ノ城ニ成ル

町と云ふの町と云て正徳年間一反の内
[illegible]　矢作より[illegible]

帳行の古蹟

熊谷村と云ふ村人民[illegible]神田[illegible]新田と[illegible]
[illegible]の帳行と[illegible]
[illegible]人家の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

若松中條古城

若松中條の弓中條の城主　長谷川入道の後世

[illegible]

[illegible]

元年　公方[illegible]

清田古城

[illegible]

花房山古城

[illegible]

宇佐郡

行橋城

田川の郡宇佐大三郎清氏神社世紀[illegible]

[illegible]

吉田古城

汗斐山古城

王地村のことろの山にあり城主は[illegible]
[illegible]しと世いう伝説[illegible]
源氏年九月[illegible]
汗斐厳の城と[illegible]
はら[illegible]

仮屋古城

田原村にあり仮屋[illegible]
[illegible]
[illegible]

民俗學會にて石器時代遺物を者もとめて

諸説説

神奈川県下の海岸に沿ひて小作村

古墳の沿一區にて大なる貝の塚あり

赤馬山古墳

赤馬山と称する岩山にて山頂に横穴式古墳

と稱へ居り居る民俗学会初めて出土したり時孔雀寺

の印山の塚にて三年所在にて出土の遺物を

塚と名付し永仁六年印山の塚と名付し故に

此村荒ら墳の名を付て墳山と田畑所有の

間にて出土物を所有し神奈川県下

古墳十四年後世の河内にて出土の一枚櫂

岩寺村の西法寺にて浦賀寺に一宿の間出早川海岸

に出土と称する墳墓にて人骨にて

十五年世墳にて所在にて

方にて方にて二尺五寸二尺五寸の

白水花にて

平光村の墳

元村に古墳の所在世墳にて民俗の時番の土にて記

小下にて所在にて

元花墳古墳

元花村の上に有る世墳にて民俗学会

赤馬

一説人とまりて定めらるてやうまつ

猪浦嶽

猪浦村の上ニ山有城ニ大ニ高三十六間氏山築く信

ニ成古城

鳴河の流内ニ成嶽ニ古城浦ニ成ハ浮渡みたり宮田沢

山の城ニ成ハ鳴河流内ニ成ハ差有

蜻蛉ヶ城

本庄村の流内ニ有宗像左衛門の郎人浮渡ニ新屋敷ハ

城ニ立死ハ大蔵ニ出ハ浮渡ニ今利金村の新の岳ニ移て

志ゝ城ニ成ハ城ニ成ハ

城浦古城

中本村の流内ニ有城ニ市和

新の岳古城

金利金村の流内ニ有宗像ニ新屋敷の城ニ立死ハ

郎人大蔵宗和と入て城ニ成

大蔵ヶの古城

志賀村ニ有城ニ志和

海老村の古城

城の城ニ成又石橋の城ニ大ニ高三間形和尚渡ニ来ル

三面所と成ハ世城ニ浦ニ宗像氏遠賀郡ニ海ニ古城

竹城ニ浦ニ竹服の城ニ移ル

石丸村の古城

城の御の城ゝゝ城ゝゝ宗和

平戸ゝゝ村上城

芸備の城ゝゝ城ゝゝ西洋

圖書寮文庫

紙背国絵図土地ゝゝ之二ヶ四枚

国立公文書館
National Archives of Japan